

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公表番号】特表2015-500806(P2015-500806A)

【公表日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-002

【出願番号】特願2014-544892(P2014-544892)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 K 39/245 (2006.01)

A 6 1 K 39/145 (2006.01)

A 6 1 K 39/155 (2006.01)

A 6 1 K 39/108 (2006.01)

A 6 1 K 39/112 (2006.01)

A 6 1 P 31/22 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 37/04

A 6 1 K 39/245

A 6 1 K 39/145

A 6 1 K 39/155

A 6 1 K 39/108

A 6 1 K 39/112

A 6 1 P 31/22

A 6 1 P 31/12 1 7 1

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月7日(2015.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トリ病原体の少なくとも1つの抗原をコードし発現する1つ以上の異種ポリヌクレオチドを含む1つ以上の組換えガリドヘルペスウイルス-3(MDV-2)ベクターを含む組成物若しくはワクチン、又は変異糖タンパク質C(gC)遺伝子を含む1つ以上の組換えガリドヘルペス

ウイルス-3 (MDV-2) ベクターを含む組成物若しくはワクチン。

【請求項 2】

トリ病原体の少なくとも1つの抗原をコードし発現する異種ポリヌクレオチドを含む、組換えHVTベクター（又はMDV-3又はメレアグリッドヘルペスウイルス-1）、野生型HVT（MDV-3）、トリ病原体の少なくとも1つの抗原をコードし発現する異種ポリヌクレオチドを含む組換えMDV-1ベクター（又はガリドヘルペスウイルス-2）、野生型MDV-1、及びそれらの組合せから成る群から選択される1つ以上の組成物又はワクチンをさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

ガリドヘルペスウイルス3中の異種ポリヌクレオチドが、該ガリドヘルペスウイルス3ベクターの固有の長（UL）領域内のORF UL55とORF LORF5との間、ORF SORF4とORF US10との間、またはORF SORF4とORF US2との間の領域に挿入される、請求項 1 または 2 に記載の組成物又はワクチン。

【請求項 4】

ガリドヘルペス3中の異種ポリヌクレオチドが、ガリドヘルペスウイルス3糖タンパク質C（UL44）に挿入されているか、又は前記糖タンパク質Cと入れ替えるために挿入されている、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載の組成物又はワクチン。

【請求項 5】

いずれかの組換えベクター中の異種ポリヌクレオチドが、ニューカッスル病ウイルスF（NDV-F）、伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス（IBDV）VP2、伝染性喉頭気管炎ウイルス（ILTV）gB、ILTV gD、ILTV gIおよびインフルエンザヘマグルチニン（HA）からなる群より選ばれる遺伝子と一致する、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項記載の組成物又はワクチン。

【請求項 6】

組換えガリドヘルペスウイルス3ベクターが極初期CMVプロモーター、マウスCMVプロモーター、モルモットCMVプロモーター、SV40プロモーター、偽狂犬病ウイルス糖タンパク質Xプロモーター、単純ヘルペスウイルス-1アルファ4プロモーター、マレック病ウイルス糖タンパク質Cプロモーター、マレック病ウイルス糖タンパク質Bプロモーター、マレック病ウイルス糖タンパク質Eプロモーター、伝染性喉頭気管炎ウイルス糖タンパク質Bプロモーター、伝染性喉頭気管炎ウイルス糖タンパク質Eプロモーター、伝染性喉頭気管炎ウイルス糖タンパク質Dプロモーター、伝染性喉頭気管炎ウイルス糖タンパク質Iプロモーター、およびウシヘルペスウイルス1.1 VP8プロモーターから選ばれるプロモーターを含む、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物又はワクチン。

【請求項 7】

さらに医薬的に又は獣医的に許容できる担体、賦形剤、ビヒクル又はアジュバントを含む、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項記載の組成物又はワクチン。

【請求項 8】

トリ病原体の少なくとも1つの抗原をコードし発現する1つ以上の異種ポリヌクレオチドを含む組換えガリドヘルペスウイルス-3（MDV-2）ベクター又は変異gC遺伝子を含む組換えガリドヘルペスウイルス-3（MDV-2）ベクター。

【請求項 9】

いずれかの組換えベクター中の異種ポリヌクレオチドが、ニューカッスル病ウイルスF（NDV-F）、伝染性ファブリキウス嚢病ウイルス（IBDV）VP2、伝染性喉頭気管炎ウイルス（ILTV）gB、ILTV gD、ILTV gIおよびインフルエンザヘマグルチニン（HA）からなる群より選ばれる遺伝子と一致する、請求項 8 に記載の組換えガリドヘルペスウイルス-3ベクター。

【請求項 10】

該組換えガリドヘルペスウイルス3ベクターが、極初期CMVプロモーター、モルモットCMVプロモーター、SV40プロモーター、偽狂犬病ウイルス糖タンパク質Xプロモーター、単純ヘルペスウイルス-1アルファ4プロモーター、マレック病ウイルス糖タンパク質CMVプロモーター、SV40プロモーター、偽狂犬病ウイルス糖タンパク質Xプロモーター、単純ヘルペ

スウィルス-1アルファ4プロモーター、マレック病ウイルス糖タンパク質A(またはgC)プロモーター、マレック病ウイルス糖タンパク質Bプロモーター、マレック病ウイルス糖タンパク質Eプロモーター、伝染性喉頭気管炎ウイルス糖タンパク質Bプロモーター、伝染性喉頭気管炎ウイルス糖タンパク質Eプロモーター、伝染性喉頭気管炎ウイルス糖タンパク質Dプロモーター、伝染性喉頭気管炎ウイルス糖タンパク質Iプロモーター、またはウシヘルペスウイルス1.1 VP8プロモーターからなる群より選ばれるプロモーターを含む、請求項 8 または 9 に記載の組換えガリドヘルペスウイルス3ベクター。

【請求項 1 1】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか 1 項に記載の組成物又はベクターの少なくとも1回の投与を含む、非ヒト動物をワクチン免疫する方法。

【請求項 1 2】

ブライム-ブースト投与スケジュールを含む、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

請求項 1 ~ 1 0 のいずれか 1 項に記載の組成物又はベクターの少なくとも1回の投与を含む、1つ以上のトリ病原体に対して非ヒト動物で免疫形成応答又は防御応答を誘発する方法。

【請求項 1 4】

動物がトリである、請求項 1 1 または 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 5】

SB-1ゲノムの非必須領域に1つ以上の単離異種ポリヌクレオチドを導入する工程を含む、組換えSB-1ウイルスベクターを製造する方法。

【請求項 1 6】

異種ポリヌクレオチドが、固有の長(UL)領域若しくは固有の短(US)領域、ORF SORF 4とORF US10との間、またはORF SORF4とORF US2との間、糖タンパク質C(UL44)をコードする領域、に挿入されるか、又はSB-1糖タンパク質C遺伝子(UL44)と入れ替えるために挿入される、請求項 1 5 に記載の方法。